

行財政改革調査特別委員会活動報告

当委員会では、8月23日に先進地視察研修として群馬県下仁田町を訪れました。下仁田町は人口7796人で高齢化率は45.36%、面積188平方キロメートルのうち85%が山林原野の山間の町でした。

かつての下仁田町の路線バスは利用者が減少し、運行維持が困難な状況でした。これに加え、町内の小学校が統廃合により1校となったことを機に、利便性向上と経費の抑制、地域コミュニティの活性化をねらい、スクールバスを一般住民に開放する一般混乗を開始しました。児童生徒と一般客は、午前6時から8時30分まで、午後3時から6時30分までの時間帯は混乗し、一般客の運賃は無料。児童生徒の利用がない午前8時30分から午後3時までの運賃は200円とのことです。

本市の公共交通においても検討の余地があることを考えさせられた研修でした

行財政改革調査特別委員会 委員長 樋山 隆四郎



スクールバスの混乗について質問する議員